

# 社会福祉法人 いたみ杉の子

## 2023年度（令和5年度）事業・決算概要

### ＝内 容＝

- ①「社会福祉法人いたみ杉の子」の概要
- ②事業概要
  - ・法人本部（事務局）
  - ・施設支援部
  - ・地域支援部
- ③就労支援事業収支
- ④障害福祉サービス等事業収入
- ⑤委託・補助金収入
- ⑥利用者・職員の状況
- ⑦人件費の状況
- ⑧経営指標及び資産・負債状況





# ①「社会福祉法人いたみ杉の子」の概要

法人理念「誰もが住み慣れた地域で豊かに暮らし続ける社会」を目指す

## <法人の設立経緯>

「社会福祉法人いたみ杉の子」は、知的障がいの子を持つ保護者組織である「伊丹市手をつなぐ育成会」が、「自分達の子どもが住み慣れた伊丹市で暮らし続けること」を願い、そのための通所事業所や入所施設等を開設、運営する法人として、育成会自身の啓発や募金活動による資金を基に伊丹市の協力を得て1996年度に設立されました。

## <2023年度のトピック>

2021年以降、感染が広がっていた新型コロナウイルスは、ようやく感染法上5類に引き下げられ社会活動の規制も緩和され、法人においても地域交流事業や利用者への日帰り旅行などの余暇活動も徐々に再開しはじめました。



←このいけ秋フェス  
↓同 音楽祭の写真



## 「社会福祉法人いたみ杉の子」の主な事業経過

年度	主な事業
1996年度	法人設立（認可1997年3月16日）
1997年度	通所事業所「ゆうゆう」開設
2001年度	「地域療育等支援事業」を受託
2002年度	居宅支援事業「ヘルプゆう」実施※現在、廃止
2005年度	「伊丹市障害児タイムケア事業」を受託 ※現在、日中一時支援事業
2007年度	「サポ-トセンターいたみ杉の子」を建設 入所施設「ライフゆう」開設 通所事業所「フォーゆう」開設 相談支援事業所「ウィズゆう」開設 GH事業所「ウォークゆう」開設
2010年度	「阪神北障害者就業・生活支援センター」を受託
2013年度	障害児通所事業所「シーズゆう」開設 「ライフゆう」新作業棟を建築
2015年度	通所事業所「ジョブリンクゆう」開設 ※2020年度に「ゆうゆう」に統合
2016年度	法人独自事業「発達支援連携室」を開設
2017年度	障害児相談事業所「リ-フゆう」開設※「ウィズゆう」に統合
2018年度	通所事業所「ホ-プゆう」開設
2019年度	GH「ガーデンハイツ杉の子」を建築
2021年度	GH「メゾン杉の子」を建築
2022年度	「サポ-トセンターいたみ杉の子」大規模改修
2023年度	「阪神北障害者就業・生活支援センター」事務所移転



## ②2023年度の事業概要

- 2023年度は、第5期中期経営計画（2023～2027年度）の初年度として、同計画の重点事項に基づく具体的な事業の実施に向けた検討を行いました。その1つとして「法人の役割を明確にした事業の推進」においては次年度からの「地域生活支援拠点事業」の実施、また、「経営体制の強化」においては人事評価を反映した組織体制の構成に結びつけました。
- 「新型コロナウイルス」が感染症法の5類に移行され季節性インフルエンザと同じ扱いになったことを受け、利用者への社会参加や余暇活動、法人の地域交流事業やイベント等を徐々に再開しはじめました。
- 事業を進める上で不可欠な人材確保については、昨年度に引き続き柔軟で多様な採用活動を展開し、次年度に向け新任職員を9名確保するとともに柔軟な就労時間の設定等により一定数のパート職員の確保を行いました。
- 施設や設備の維持、改善においては、次年度の「ゆうゆう」の大規模改修に向けた検討（設計）をおこなうとともに、「ホープゆう」のエレベーター改修に向け、民間財団の補助を確保することができました。
- 国県からの委託事業である「阪神北障害者就業・生活支援センター」については、賃貸契約満了に伴い事務所の移転を行いました。

## 法人本部（事務局）

### <法人運営会議等の状況>

- ・理事会 5回
- ・評議員会 2回
- ・監事監査 1回
- ・評議員選任解任委員会  
※今期は開催せず
- ・経営会議 24回
- ・所長会議 12回
- ・安全衛生委員会 12回
- ・虐待防止委員会 2回
- ・職員連絡協議会 1回

### <広報活動>

- ・機関誌（YOUねっと）2回
- ・ホームページ 随時更新
- ・メールマガジン 13回
- ・事業所パンフレットなど

### <組織体制>

- ・役員（理事・監事）の改選を実施
- ・事業組織は現状を維持

### <第5期経営計画の推進>

- 法人の役割の明確化と関係機関との連携
  - ・市施策に基づく「地域生活支援拠点」の受託に向けた検討
  - ・発達障害者等への就労支援事業の検討
- 法人の経営力の強化
  - ・人事評価を活かした組織構成（所長人事）
  - ・法人事務局の強化（配置人員の増）

### <新型コロナウイルス対応状況>

- ・感染対策に配慮しながら余暇活動や地域交流事業の再開
- ・3月に利用者・職員の複数名において同時発症みられるも集団感染にならず終息



↑ 中央競馬会馬主協会の補助を受けての新たな送迎車両の配備  
神戸やまぶき財団の補助を受けて整備した多機能トイレ

### <職員募集、処遇改善、離職防止など>

- 職員募集（積極的採用）
  - ・有料求人サイト開設、就職説明会参加（12回）等
- 処遇改善
  - ・国家公務員の人事勧告に合わせた基本給のベースアップ
  - ・国の処遇改善手当の積極的な活用
- 研修、離職防止
  - ・新任研修、虐待防止研修、支援研修、健康管理研修
  - ・部長による個別フォローなど



## 施設支援部

施設支援部は、通所事業所3カ所、入所施設1カ所、グループホーム9カ所で構成しています。近年は、利用者の高齢化、重度化が進む傾向にあり、各事業所とも介護支援、健康管理支援の比重が高くなっています。

### <通所事業所「ゆうゆう」>251日営業

- 生活介護：延11,472名利用（利用者数46名）
- 就労継続支援B型：延4,740名利用（利用者数20名）

### <通所事業所「フォーゆう」>251日営業

- 生活介護：延12,608名利用（利用者数53名）

### <通所事業所「ホープゆう」>251日営業

- 生活介護：延3,637名利用（利用者数16名）

### <入所施設「ライフゆう」>366日営業

- 施設入所支援：延11,579名利用（入居者数37名）
- 短期入所：延342名利用（空床型）

### <グループホーム事業所「ウォークゆう」>366日営業

- ホーム杉の子：延1,744名利用（入居者数5名）
- ホームりんく：延1,420名利用（入居者数4名）
- ホームすてっぴ：延1,467名利用（入居者数3名）
- ホームさにい：延2,401名利用（入居者数7名）
- ホームじゃんぷ：延1,759名利用（入居者数5名）
- ホームはあと：延1,062名利用（入居者数3名）
- ホームすきっぴ：延1,335名利用（入居者数4名）
- ホームすてら：延1,817名利用（入居者数6名）
- ホームまある：延1,107名利用（入居者数4名）
- 短期入所：延129名利用（空床型）

### <2023年度の特徴>

施設支援部においては、一昨年開設した「メゾン杉の子」にあるグループホーム「まある」の運用を6月から開始し、法人全体で9ホーム（定員50名）となりました。通所、入所含め利用者については、新たに特別支援学校卒業者を受け入れたと同時に高齢化等により高齢者施設や医療機関へ移行される方も増えています。コロナ感染の発症については減ってきているものの風邪等で事業所利用をお休みされる方が増えました。いずれも、今後は利用者の高齢化に対応する医療や支援体制を強化することが求められます。



↑家族会によるお菓子づくり



施設部利用者の作品展

新規オープンした  
ホーム「まある」→



余暇活動も徐々に  
再開

↑ソーメン流し  
→夏フェス





## 地域支援部

地域支援部は、「相談支援」「就労支援」「障害児支援」等、障がい児童から成人まで幅広い層の支援を実施しています。また、法人独自の「発達支援連携室」を運営し、障害児支援のネットワークや支援者や家族向けの公開研修等の啓発事業を実施しました。

### <相談支援事業所「ウィズゆう」>

- 伊丹市障害者相談支援事業（市委託）  
利用延人数：8,350人（延相談件数：8,405件）
- 指定特定相談支援事業（計画相談）  
契約者数：知的197人 身体17人 精神13人  
障害児71人 合計298人

### <障害児通所事業所「シーズゆう」>251日営業

- 児童発達支援事業：延68人
- 放課後等デイサービス事業  
契約者数：27人（延2,069名利用）
- 保育所等訪問支援事業：利用契約数 8人
- 日中一時支援事業（市委託）：延利用数51人

### <発達支援連携室>法人独自事業で設置

- 公開研修：6回 ・家族学習会：2回
- 放課後等デイサービス事業所等連絡会：3回
- 障害学生支援ネットワーク等：3回
- 障害児等療育支援事業（県委託）  
在宅支援訪問療育等指導：延107件  
施設支援一般指導：延115件

### <阪神北障害者就業・生活支援センター>

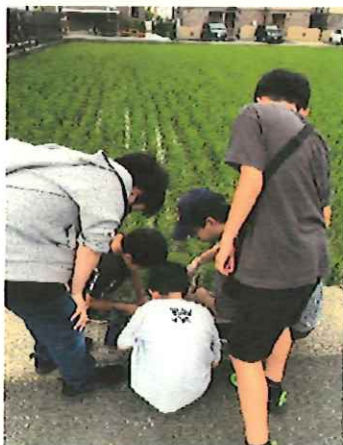
- 雇用安定等事業（国委託）
- 生活支援等事業（県委託）
- 雇用就業、定着拡大推進事業（県委託）  
登録者：392人、延相談支援件数：3,217件  
就労支援：45件、企業支援：1,585件

### <2023年度の特徴>

地域支援部においては、「相談支援」「就労支援」共に件数が増加した一方で、他機関連携が求められる困難ケースが増えつつあります。次に障害児支援事業所「シーズゆう」においては特色ある活動に取り組むことで利用者の増につなげました。法人独自の事業である「発達支援連携室」においては引き続き時代に応じたテーマによる公開研修を開催し多くの福祉関係者の参加を得るとともに「市内放課後等デイサービス事業者連絡会」や「発達障害学生の支援」などの多様な関係者によるネットワーク事業を展開しました。



発達支援連携室  
←放課後等  
デイサービス  
事業者等連絡会  
→障害学生支援  
ネットワーク



←「シーズゆう」  
・田んぼでの虫取り  
・近くの公園で水遊び



↓阪神北障害者  
就業・生活支援センター  
利用者支援学習会





### ③就労支援事業収支

就労支援事業収支は、作業収益のある（利用者に工賃を支払っている）事業所（ゆうゆう、フォーゆう）における収支で、収入はお菓子工房「リアン」や喫茶等の自主製品の売り上げ、受託作業委託料、支出は利用者への工賃や作業等を行うための原材料費などとなります。

<事業所ごとの内訳（2023年度）>

（単位：円）

事業所区分	サービス区分	収入	支出(工賃)	支出(原材料費等)	収支差額
ゆうゆう	生活介護	2,516,838	1,707,758	809,080	0
	就労継続B型	9,885,073	4,636,071	5,135,799	113,203
フォーゆう	生活介護	1,308,538	737,953	488,299	82,286
合計		13,710,449	7,081,782	6,433,178	195,489

<2023年度の特徴>

2022年度では「お菓子工房リアン」がオープンし大きな売り上げ増となりましたが、2023年度はコロナ感染が治まりつつあるものの受注作業や施設外事業等は増えず事業収入が減少しました。

<就労支援事業収支推移>

（単位：円）

区分	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
収入(売上)	15,551,952	12,869,467	13,024,625	15,128,705	13,710,449
支出(仕入・工賃)	15,309,215	12,127,901	12,902,842	14,611,522	13,514,960
収支差額	242,737	741,566	121,783	517,183	195,489

### 就労支援事業収支



<工賃変動積立金推移>利用者の工賃の安定のための積立金

（単位：円）

区分	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
積立額	344,263	219,326	121,783	517,183	195,489
取崩額	101,526	183,838	0	0	0
積立残額	1,704,475	1,739,963	1,861,746	2,378,929	2,574,418

工賃変動積立金は、年度収支差額を積立て、または、取り崩しています。2023年度も昨年度同様に収支差額分が生じたためその分を積立することができました。



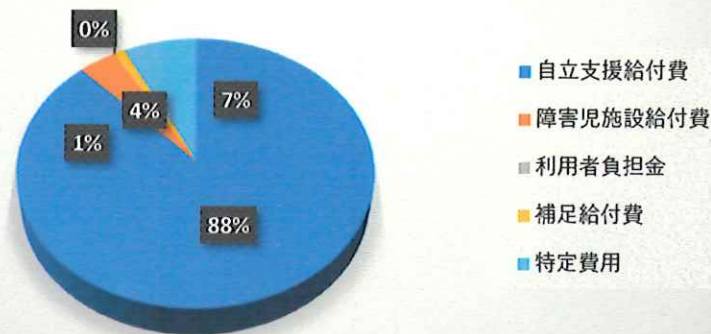
## ④障害福祉サービス等事業収入

障害福祉サービス等事業収入は、法人の中核となる収入です。自立支援給付費は「介護給付」「訓練等給付」「計画相談給付」等により構成され、障害児童は別の給付となります。また、給付費には、それぞれ加算や補足給付等が付加されます。

### <障害福祉サービス等事業収入> (単位：円)

区分	2023年度	2022年度	差異
自立支援給付費	684,483,379	679,078,138	5,405,241
障害児施設給付費	28,850,766	26,237,591	2,613,175
利用者負担金	712,351	893,069	-180,718
補足給付費	7,358,362	7,797,821	-439,459
特定費用	57,251,458	56,736,913	514,545
合計	778,656,316	770,743,532	7,912,784

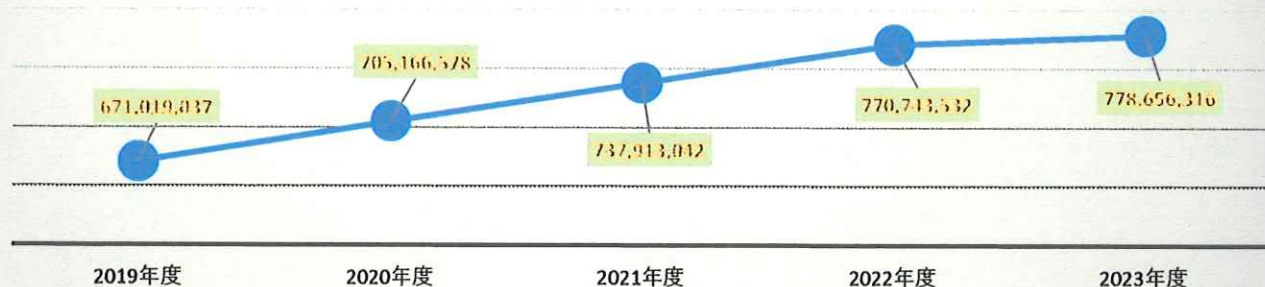
### 障害福祉サービス等事業収入



### <障害福祉サービス等事業収入の推移> (単位：円)

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
障害福祉サービス事業費	671,019,037	705,166,578	737,913,042	770,743,532	778,656,316

### 障害福祉サービス等推移



#### <2023年度の特徴>

2023年度は、利用者の入院や高齢者施設への移行などで利用総数が減少となり、障害福祉サービスの収益の伸び率が昨年度に比べ2%と鈍化しました。(これまで平均5%の伸び)また、水光熱費や食材費の高騰がつづく中、県や市から、それらの利用者負担の軽減策(補助金)が講じられたため、利用者負担金を据え置いたことも収入減の要因となっています。



## ⑤委託金・補助金収入

本法人においては、「障害福祉サービス事業」とは別に、国や県また伊丹市から「業務委託事業」や「補助事業」を受託実施しており、その収入があります。

### <委託金>

(単位：円)

事業名	2023年度	2022年度	差異
相談支援事業	9,993,858	6,406,320	3,587,538
雇用安定等事業	25,050,937	24,794,278	256,659
生活支援等事業	5,010,000	4,879,456	130,544
障害児等療育支援事業	2,603,952	3,063,888	-459,936
雇用就業・定着拡大事業	4,975,000	4,893,000	82,000
日中一時支援事業	11,792,130	11,404,190	387,940
合計	59,425,877	55,441,132	3,984,745

### <2023年度の特徴>

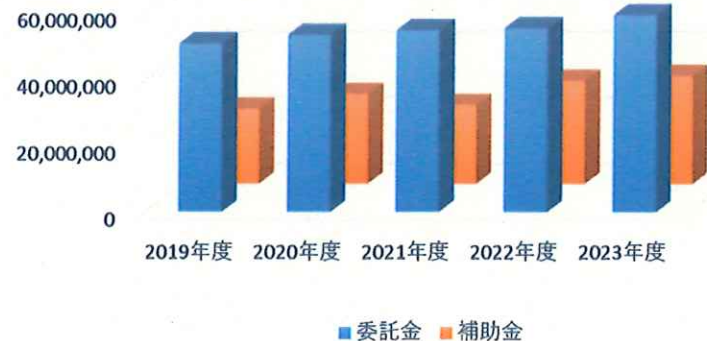
委託事業においては、県事業である「障害児等療育支援事業」が年々減額されており、最終的にはなくなるとのことです。次に補助金については、ここ最近の諸物価高騰の影響をうけ、県、市の方から、臨時的に「水光熱費」や「食材高騰対策費」の補助がありました。また、福祉人材不足の解消にむけた処遇改善関連の支援策については、2月の給与分から支援策が講じられていますが、実質的には、来年度6月頃からのスタートとなります。

### <補助金>

(単位：円)

事業名	2023年度	2022年度	差異
市家賃助成補助	6,155,177	5,771,400	383,777
特別処遇補助	12,992,000	12,992,000	0
民間施設補助	612,000	792,000	-180,000
市施設運営補助	2,500,000	2,500,000	0
物価高騰対策一時金他	3,790,000	1,695,027	2,094,973
市食材費支援	3,584,000	0	3,584,000
その他安全対策等	2,954,987	0	2,954,987
合計	32,588,164	23,750,427	8,837,737

### 委託金・補助金推移



### <委託金、補助金の推移>

(単位：円)

区分	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
委託金	50,697,627	53,310,296	54,784,019	55,441,132	59,425,877
補助金	22,471,250	27,001,000	23,713,000	31,107,027	32,588,164



## ⑥利用者・職員の状況

法人事業の利用者（障害者）の状況と事業に従事する職員の状況です。障害福祉サービス事業は利用者との契約により実施され、利用実績に基づき給付金が支給されます。

### <利用者数（延べ人数）>

(単位：人)

事業所	営業日数	介護給付対象	訓練等給付対象	児童支援対象	相談支援対象	合計	1日平均利用者
ゆうゆう	251日	11,472	4,740			16,212	65人
フォーゆう	251日	12,608				12,608	50人
ホープゆう	251日	3,565				3,565	14人
ライフゆう	366日	11,579				11,579	32人
ウォークゆう	366日	13,812				13,812	38人
短期入所	366日	342				342	
シーズゆう	251日	(放課後等デイサービス、発達支援)		2,137		2,137	9人
ウィズゆう・リーフゆう	251日	(計画相談<新規・更新・Eメール>)			974	974	4人
合計	2,353日	53,378	4,740	2,137	974	61,229	26人

### <職員数（2023年度末）>

(単位：人)

事業所	部長(管理職)	所長・係長	主任	看護師・栄養士等	支援員・相談員・事務等	パート職員	合計
事務局	1	1	1	0	2	2	7
ゆうゆう	1	1	2	1	6	30	40
フォーゆう		1	2	0	8	17	28
ホープゆう		(兼務)	0	0	2	13	15
ライフゆう	1	1	2	2	10	18	34
ウォークゆう		1	1	0	9	38	49
シーズゆう	1	1	0	0	2	13	16
ウィズゆう・リーフゆう		1	0	0	6	1	8
阪神北支援センター		1	0	0	4	2	7
発達支援連携室		1	0	0	0	6	7
合計	4	9	8	3	49	140	211



<利用者の推移> 利用者延べ人数

(単位：人数)

区分	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
介護給付対象者	51,503	52,888	52,800	54,024	53,378
訓練等給付対象者	6,290	6,219	5,774	5,656	4,740
児童支援対象者	1,075	1,391	1,899	2,079	2,137
計画相談対象者	430	408	829	934	974

利用者数はグループホームの入所者の増により介護給付対象者は増えていますが、反面、作業等がおこなえる利用者は年々減っています。また、児童や相談利用者は増えています。

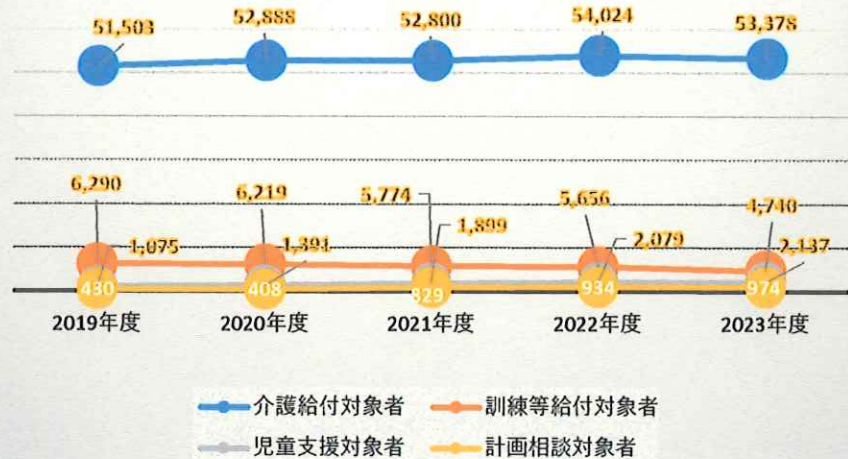
<職員数の推移> 各年度末の人員

(単位：人数)

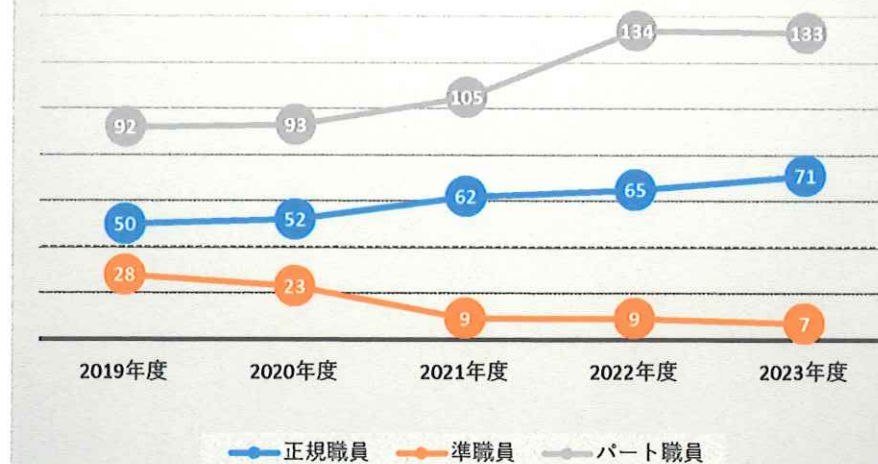
項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
正規職員	50	52	62	65	71
準職員	28	23	9	9	7
パート職員	92	93	105	134	133
合計	170	168	176	208	211

職員数は正規職員の多様な募集方法と時給単価アップによるパート職員募集により、全体的には、昨年度より増えました。一方、離職についても毎年度一定数あり、離職防止に向けた取組の必要性があります。

利用者数の推移 (延人数)



職員の推移 (人数)





## ⑦人件費の状況

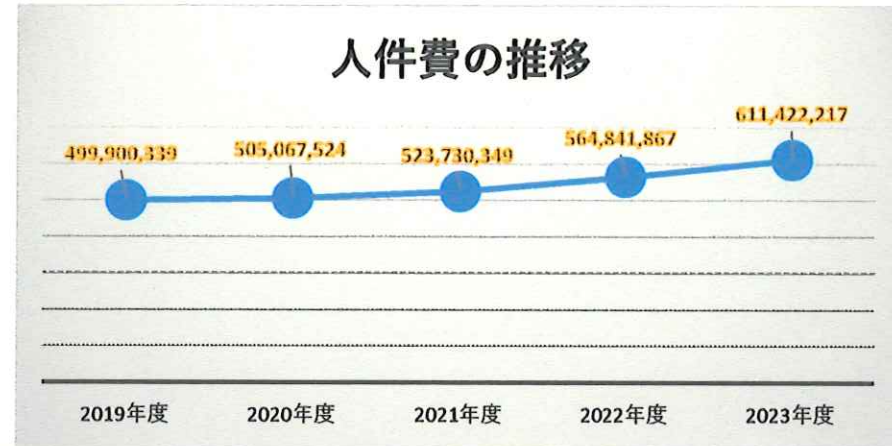
※数値は資金収支計算書から引用

### <人件費>

(単位：円)

項目	2023年度	2022年度	差異
役員報酬	7,151,000	7,326,000	-175,000
職員給与	276,864,529	268,888,788	7,975,741
職員賞与等	67,909,247	60,837,735	7,071,512
非常勤給与	174,064,941	154,213,591	19,851,350
退職給付	12,221,978	8,102,242	4,119,736
法定福利	73,210,522	65,473,511	7,737,011
合計	611,422,217	564,841,867	46,580,350

### 人件費の推移



### <人件費推移>

(単位：円)

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
人件費	499,900,339	505,067,524	523,730,349	564,841,867	611,422,217

### 法人全体の資金収支状況

(単位：円)

項目	勘定科目 (大区分)	2023年度	2022年度	差異	備考
事業活動収入	就労支援事業	13,710,449	15,128,705	-1,418,256	授産事業収支
	障害福祉サービス等事業	873,750,357	864,441,691	9,308,666	介護、訓練等給付
	寄附金	80,000	250,000	-170,000	利用者ご家族等
	利息等	194,274	138,798	55,476	預金利息
	その他の収入	11,138,873	14,670,024	-3,531,151	職員給食費、労働局助成等
	収入合計	898,873,953	894,629,218	4,244,735	
事業活動支出	人件費	611,422,217	564,841,867	46,580,350	給与、賞与、手当等
	事業費	86,596,563	88,680,005	-2,083,442	サービス提供に係る経費
	事務費	94,941,615	94,513,720	427,895	施設運営にかかる経費
	就労支援事業	13,436,070	14,733,204	-1,297,134	利用者工賃、原材料費等
	支払利息	929,243	984,008	-54,765	
	その他の支出	9,948,955	8,809,585	1,139,370	
	支出合計	817,274,663	772,562,389	44,712,274	
	収支差額	81,599,290	122,066,829	-40,467,539	



## ⑧経営指標及び資産・負債状況

※数値は事業活動計算書から引用

※全国平均は福祉医療機構報告書(2023年度)から引用

＜経営指標＞※本業であるサービス活動での指標 (単位：円)

※平均職員数に関して、パート職員は常勤換算とした

項目	説明	計算値(A)	計算値(B)	指標(A÷B)	全国平均指標
サービス活動増減差額率	収益に対する収益差額の割合(収益差額÷サービス活動収益)	40,136,776	887,540,806	4.52%	1.54%
経常増減差額率	経営の安定性(経常増減差額÷サービス活動収益)	42,922,974	887,540,806	4.84%	1.82%
1人当たり収益	職員1人当たりの収益(サービス活動収益÷平均職員数)	887,540,806	156人	5,689,364円	6,819,000円
人件費比率	収益に占める人件費の割合(人件費÷サービス活動収益)	617,935,168	887,540,806	69.6%	66.7%
事業費比率	サービス収益に対する事業費の割合(事業費÷サービス活動収益)	86,596,563	887,540,806	9.8%	15.4%
事務費比率	サービス収益に対する事務費の割合(事務費÷サービス活動収益)	94,941,615	887,540,806	10.7%	10.3%

＜資産内容＞

(単位：円)

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	対前年度比
流動資産	362,924,028	407,744,999	403,686,750	517,057,193	413,074,166	397,938,939	96.34%
固定資産	1,137,902,663	1,223,658,304	1,239,676,621	1,515,735,602	1,546,071,377	1,591,848,441	102.96%
基本財産	744,848,962	906,952,720	883,765,228	1,234,187,653	1,251,977,081	1,199,939,410	95.84%
その他の固定資産	393,053,701	316,705,584	355,911,393	281,547,949	294,094,296	391,909,031	133.26%
流動負債	74,591,843	144,192,975	86,025,209	195,032,928	87,892,555	117,326,247	133.49%
固定負債	84,006,128	92,789,426	95,014,095	225,934,004	213,332,609	199,928,179	93.72%

＜積立金の状況＞2023年度末

(単位：円)

積立金種別	当期取崩額	当期末積立額	積立残額
設備等整備積立	0	30,000,000	145,286,000
修繕等積立	0	70,000,000	100,711,080
人件費等調整積立	0	0	40,000,000
合計	0	100,000,000	285,997,080

＜借入金の状況＞2023年度末

(単位：円)

借入先	当初借入額	当期末返済額	当期末残額
福祉医療機構(517)	39,800,000	2,090,000	8,360,000
福祉医療機構(ホ-7)	30,000,000	3,000,000	12,000,000
伊丹市育成会(ウ-7)	20,000,000	2,000,000	12,000,000
福祉医療機構(ウ-7)	140,000,000	7,140,000	127,925,000
合計	229,800,000	14,230,000	160,285,000

### 資産・負債の推移

